

沢田 広志
無所属の会

病院改築後における
医療職種の確保について

問 砂川市立病院を核として医療を展開するうえで、看護大学並びに医療専門学校等の集積が必要と思いますが、市立病院の専門的な立場からの考えについて。

答 看護大学の役割は高度な専門性と豊かな人間性を備えた看護職を育成するとともに看護を実践していく上で科学的・理論的・論理的に判断する能力などを習得させる場として、4年制大学の必要性が謳われています。
現在、道内では平成20年度に新設2校を含め、10校の4年制大学が札幌市、旭川市など比較的人口の多い都市に設置されている状況です。

看護大学をはじめ、看護教育機関は73校あり、また平成21年度から看護教育カリキュラムが変更されることから看護レベルの向上が図られていくものと考えます。このことから看護大学の集積について

は道内の状況を踏まえるとともに、医療を取り巻く情勢を見据えていくべきと考えます。

当院で従事している医療職種は、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚師、柔道整復師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士、臨床工学士、視能訓練士、栄養士等です。

医療専門学校の集積について、道内における薬科大学及び医療専門学校等の状況では、薬科大学は3校、放射線技師養成校は3校、臨床検査技師養成校は4校、臨床工学士養成校は4校、視能訓練士養成校は2校、理学療法士養成校は10校、作業療法士養成校は9校、言語聴覚士養成校は3校、柔道整復師養成校は4校となっております。

これらの養成校は、主に札幌市を中心に開設されており、病院機関が多い都市部に集中している状況です。

医療従事者の需要と供給のバランスにおいては、一部に不足又は過剰の職種もありますが、いずれも医療情勢によってその必要度が大きく変わることもあり、絶対的にどの

職種の養成校が必要かは判断つかないものです。

医療に必要な人材は、幅広い養成校から確保することにより重点を置いていることから、集積については病院として現段階では考えていません。



看護専門学校

吉浦 やす子
公明党

児童・生徒の携帯電話利用
について

問 文部科学省では全国の小中学生に携帯電話の利用実態調査を実施し、その結果によると、中学2年生の約2割が1日50通以上のメールの送受信を行っており、100通以上のやり取りをする小学生もいるという実態が報告されています。

市内においてもメールで「死

ね、いなくなれ」などと送られてきたもので、保護者が悩んでいるという声も聞かれています。保護者と学校で子どもを危険から守る取り組みを深めていく必要があると思います。そこで伺います。

①本市の児童生徒の携帯電話の所有・利用の実態、学校への持ち込み禁止についての取り組みについて。

②携帯電話のインターネット機能や掲示板機能などによるトラブルに巻き込まれているような実態をどのように掌握しているのか。

③子どもが被害者にも加害者にもならないような教育も必要と思うがその取り組みについて。

④保護者も悪質サイトの閲覧を制限するフィルタリング機能などを理解していない実態があるが、保護者に対する情報提供などの取り組みについて。

答 ①文部科学省の基本方針に従い学習の場である学校には携帯電話は不要なものとの判断から各学校に対して指導を行うよう通知しました。

②いわゆる「新しい形のい

じめ」については、児童生徒との日常的なふれあいや、本人や保護者からの相談、アンケート調査などで対応を強化しているところです。また未然防止早期発見の観点から「ネット巡回」や「サイバーパトロール」を随時実施するなど、実態の把握に努めています。

③中学校では、生徒や保護者を対象とし、携帯電話の功罪についての講演会を実施するなど、学習内容に工夫を凝らした取り組みをしています。

④学校を通じて保護者等に家庭におけるルールづくりの必要性や、フィルタリング機能について積極的に情報提供を行うなど働きかけを行ってきました。今後も子どもたちに対する指導だけでなく、保護者に対する情報提供や啓発活動を行ってまいります。



一ノ瀬 弘昭
無所属

ごみ処理事業について

問 砂川市では、平成14年10月からごみ処理体制が「家庭系一般廃棄物」と「事業系一般廃棄物」に二分され、同時に細分化されたごみの分別が本格稼動しました。

地球環境や居住環境等を見据えたごみ処理事業への更なる発展を切望し、次のことについて質問します。

①砂川市は「混ぜればごみ・分ければ資源」をスローガンにごみの減量化・資源化・再生利用を推進していますが、現在ごみとして処理されている物を資源として見直す考えについて。



収集日以外に出された資源ごみ

②見直しされるとした場合市民周知として、一般家庭向けに図やイラスト等を挿入した、分かりやすく保存可能な印刷物を作成し配布してはどうかと思いますがその考えについて。

答 ①今後においても循環型社会の構築を一層推進する必要があるものと認識しており、分別については、リサイクル技術の進歩等により、一部燃やせるごみでも、資源ごみとしてリサイクルが可能と見込まれる場合は、分別区分の見直しを図っていきます。

②分別の一部に区分の変更が生じた場合には、周知ポスターについて検討します。

地球環境・居住環境について

問 近年、地球環境の保全問題に対する国民意識が高揚し、個人個人が知らず知らずの間にエコに取り組んでいます。

室内の温度設定の見直しやごみの減量化等、それは一般家庭や企業、多種多様な形態で行われています。

こうした状況のもと、更なるエコへの関心を多くの市民

の皆さんと共有し、意識の向上を図るためのセミナー等の開催や映画上映等、気軽に地球環境や居住環境を誰でも考えることのできる取り組みができないか伺います。

答 地球環境への問題意識の高まりは急速に広がりをみせているものと認識しており、本市でも市の関連施設における二酸化炭素排出削減目標の設定や環境家計簿の作成等の取り組みを実施しています。

総括質疑・意見書

本会議における総括質疑を行った議員及び質疑項目は次のとおりです。

- 小黒 弘議員(無所属の会)
- 中江 清美議員(日本共産党)
- 一ノ瀬弘昭議員(無所属)
- 武田 圭介議員(公正会)
- 土田 政己議員(日本共産党)
- 砂川市介護保険条例の一部を改正する条例
- 保険料の値上げと第4期介

護保険事業計画の関連について。

● 保険料が大幅に引き上がる要因について。

● 引き上げ幅を抑えるための基金や一般会計からの繰り入れについて。

● 砂川市公民館・体育施設の指定管理者の指定

● NPO法人「ゆう」への指定管理者について。

● 一般会計予算

● 定住自立圏構想と広域行政圏との係わりについて。

● 第6期総合計画策定について。

● 中心市街地活性化協議会から中心市街地の活性化について。

● オアシスパーク管理費からオアシスパークの有効活用について。

● 新規就農と移住・定住促進について。

● 学童保育事業について。

● 税収減による今後の財政運営への影響について。

● 地方財政計画と予算編成の基本方針について。

● 国民投票サブシステム構築経費について。

● 新学習指導要領について。

● 学校給食について。

可決された意見書

今定例会では、5件の意見書が議員提案・可決され、衆議院議長、内閣総理大臣ほか、関係大臣に提出しました。

● 季節労働者対策の強化を求める意見書について

● 公的医療機関の安定経営と地域医療の確保を求める意見書について

● 公契約に関する基本法の制定を求める意見書について

● 雇用対策の充実・強化とセーフティネットの拡充を求める意見書について

● 肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書について

